



愛知の「働き方改革」取組事例  
株式会社 義津屋

所在地：津島市新開町1丁目6番地

業種：卸売業 小売業

従業員数：3,500名 男性1,000名女性2,500名(H29.8現在)



### 取組の目的

- ① お客様の豊かな暮らしに無償の奉仕をささげ
- ② お得意様の健やかな栄えに誠実の取引を願い
- ③ 社員のさわやかな幸せに緊密な協働をしましょう の社是のもと、ヨシツヤグループ（義津屋・ヨシツヤストア・ワイストア・ワイサポート）に関わる人の安心・安全を第一に考え、お客様・従業員の幸せを追求する。

### 取組の概要

#### ○ 労務管理及び所定外労働時間の削減の取組

- 労働時間が長くなれば、作業効率や集中力も低下し、労働災害の発生につながることから、「労災事故ゼロキャンペーン」として、自主的な労働時間管理の意識付けを徹底した。
- 「労災事故ゼロキャンペーン」「長期離脱者ゼロキャンペーン」内容を会議にて読み合わせ、意識を向上させた。
- 所定外労働時間削減について「時間管理の徹底」などを常時トップメッセージとして発信するとともに、各部署においてもこまめに声掛けを行った。
- 規定時間での勤務、休憩時間の確保を徹底した。（残業ルールの徹底）
- 本社：事務センターの閉館時間を22時→21時→20時30分へと徐々に短縮していった。
- 津島労働基準監督署長を講師に労災・安全衛生勉強会、社労士による働き方改革勉強会を開催し、管理職の意識を高めた。
- 管理職に対し、疲労蓄積度自己診断チェックを実施し、問題がある者に産業医面談を実施した。
- 人間ドック補助、血圧計設置、インフルエンザ予防接種補助、ストレスチェック実施、アルコール除菌液設置等を行い健康チャレンジ事業所に認定された。

#### ○ 年次有給休暇取得促進のための取組

- 年52週の売上順位をつけ、売上実績の低い時期に計画的に休日を取得することを推奨し、会議などで周知した。（1月初旬～3月中旬と8月中旬～10月中旬を春・秋の連休期間と定め、心身ともにリフレッシュを促している）

## 取組の概要

### ○ 業務の効率化

- 発注方法をハンディターミナルからの自動発注に切替えた。
- 一括物流の導入により、商品管理を合理化した。
- 事務作業に必要なスキャナーを端末式からWi-Fi接続式に変更することで、机上でなく、遠隔でも作業できるようにし、人材を有効活用するため部門の壁を越たミーティングを開催し、早朝勤務への配置換えも可能とするなど、多能工化を促進した。
- 誕生日会の毎月開催により、正規・非正規の従業員間のコミュニケーションの活発化を図っている。

### ○ 女性の活躍推進

- 全従業員における女性の比率は約7割と多く、女性管理職登用は、課長職以上において10名の女性が活躍しており、管理職の9%にあたる。
- 新任店長もすぐ活躍できるように業務のマニュアル化を進めている。
- 「女性の活躍企業」として「あいち女性輝きカンパニー」の認定を受けている。

## 現状とこれまでの取組の効果

### ○ 労務管理及び所定外労働時間の削減

- 3年前6,000件あった始業・終業時刻の打刻誤り（打刻モレ・修正）が、昨年は300件に減少した。
- 所定外労働時間は減少した。
- 自動発注システムの活用による発注割合が、衣料品・住関連部門は約60～70%、食品部門で約40%弱となり、発注にかかる時間が短縮でき、作業効率が向上した。
- 食品売場は、作業開始時刻を7時30分と決めて作業開始するようになった。
- 部門の壁を越えての業務の共有が可能となり、労働者間のコミュニケーションが増えた。

### ○ 年次有給休暇の取得促進

- 年次有給休暇取得率は、パートについては約70%である。
- 社員の年次有給休暇取得率は、約20%に留まっており、今後の課題となっている。
- 連休取得率は50%程から2年前80%へ、更に98%へ上昇した。（年2回の連休期間）

### ○ 社員の反応

- 時間管理、休日についてのメリハリ・意識付けがついた。
- システム導入もあり、業務改善が進んだ。これまでより部門の壁を超え、協働する意識が強くなった。
- 自身の健康についてもより意識をするようになった。